

のぼ ども 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のぼ ども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町 6 3 1
発行責任者：古川 美帆

令和6年7月 第40号

のぼ ども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

今年の梅雨入りは随分遅かったですね。個人的には高温多湿は苦手なのですが、雨が降らなくて水不足も困りますし、程々というのはなかなか難しいなあ…と思います。自身もちろんですし、職場の仲間や利用者さんの体調にも留意しながら暑い夏を乗り切っていきたいと思います。

さて、いよいよ今年度改正児童福祉法が施行されました。『アドボカシー・こどもの意見表明』という話題が様々なところで取り上げられてきました。“こどもの意向を考慮・尊重する”のは我々児童の福祉に携わるものとしては当たり前のことと思いつつ、こどもの発する言葉が真意とは限らないこと、また児童の意向に沿うことが必ずしもそのこどもにとっての福祉になるとは限らないという課題に直面していると感じます。児童家庭支援センターという立場上、こどもと関係性ができており、気持ちを聴き取る機会も増えてくるかも知れません。ひとりの人間のその後の人生に関わることです。大人の都合でなく、常にこどもの立場に立ち、そのこどもにとって何が最善かを考えることから逃げないでいたいと思います。

今後も一人でも多くのこどもが笑顔いっぱいの日々を過ごせるよう、地域の身近な相談先として多くの皆さまに知っていただけるよう職員一同励んでまいります。

のぼ ども家庭支援センター長

のぼ ども 地域交流事業

今年度 第1回目のイベントはダーツで遊ぼう♪



今年度最初の地域交流イベントは6月に小学生対象のダーツを実施しました。昨年度から始めたダーツイベントは今回で4回目。昨年も参加してしてくれた子、1年生に上がり

初めて参加した子、今回も多くの方に参加頂きました。練習、チーム戦、個人戦色々なゲームを行いました。チーム戦では初対面であってもお互い応援し合い、勝って喜んだり、勝てずに悔しがったり、色々な表情が見られて、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。



想 感 考 望

のぼ ども 職員の
ひとりごと…

自分の子供は、つい数か月前まで小学生でした。小学校最後の思い出の一つとして数年ぶりに「工場見学」に行こうと思いたちました。自分が学生だった数十年前や数年前のコロナの前は、直接工場へ行って無料で臨場感を楽しむことができたのですが、コロナを経てすっかり変わってしまい、便利なオンライン工場見学が増えました。これはこれで大勢の人が自宅で深く知ることができ、知識欲のある大人・子供に対しても画期的だとは思いました。一方①子供との外出の機会②臨場感を味わえ、気軽に職業体験できる場所を探す事の難しさと少しの寂しさを感じました (TT)。

のぼ ども 日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(*^_^*)

子育て短期支援事業でお預かりをしている子どもたちの中には、兄弟姉妹と一緒に利用している子もいます。いつもはきょうだいと一緒に来ている子が、先日お家のスケジュールの関係で1人での利用になったとき、様子の変化があり驚きました。

いつもは遊びを中心に過ごす子ですが、その日はお家や学校での出来事、それを自分がどう感じたか、職員はどう感じるか、などたくさんお話をしてくれました。楽しく過ごすことはもちろん、じっくりお話をし考えたりすることもセンターの支援として目指すところなので、とても良い時間だったなと思います。また、改めて子どもの色々な面を見ることの重要性を実感しました。

絵本の紹介



うみの100かいだてのいえ
作・絵：いわいとしお
出版社：偕成社

船の上から海に落ちてしまったお人形のテンちゃん。海の中でお洋服や髪の毛がみんなどこかへいってしまいました。海の中には100階建ての家がありラッコさんやイルカさんのお部屋を探索しながらテンちゃんは落とし物を見つけ出しますが…テンちゃんの冒険はもちろん、たくさんの生き物の個性あふれるお部屋やそれぞれの生活に注目してみるのも面白いです！

のぼ ども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで(祝日、年末年始除く)
受付時間：9時～17時

